

## 「JENESYS2.0」

2015年度中国高校生訪日団第4陣Aコース

訪問日程 2015年11月3日（火）～11月11日（水）

### 1 プログラム概要

中国教育部が派遣した2015年度中国高校生訪日団第4陣Aコース計124名が、11月3日から11月11日までの8泊9日の日程で来日しました（副団長＝何春玲（ホー チュンリン）、浙江省教育庁監督指導処副調査研究員）。

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団は、日本各地を訪問し、先端技術に関する視察を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、学校交流や、ホームビジット等を通じて、日本の高校生や一般市民との友好交流と相互理解を深めました。

### 2 日程

#### 11月3日（火）

成田国際空港より入国  
オリエンテーション

#### 11月4日（水）

セミナー「日本のものづくりについて」  
日本科学未来館視察  
歓迎会

#### 11月5日（木）

第1・2分団：岡山県へ移動、倉敷美観地区視察  
第3分団：岐阜県へ移動、高山陣屋・飛騨の里視察  
第4分団：鳥取県へ移動、あおや和紙工房紙すき体験、地場産直売所わったいな視察

#### 11月6日（金）

第1分団：岡山後楽園視察、岡山県立岡山東商業高等学校訪問・交流  
第2分団：岡山後楽園視察、岡山県立岡山一宮高等学校訪問・交流  
第3分団：飛騨産業株式会社視察、岐阜県立高山工業高等学校訪問・交流  
第4分団：鳥取家政学園鳥取敬愛高等学校訪問・交流、鳥取砂丘・ジオパーク・砂の美術館視察

#### 11月7日（土）

第1・2分団：愛知県へ移動、蒲郡みかん狩り、蒲郡竹島訪問  
第3分団：ホームビジット  
第4分団：さじアストロパーク視察、望遠鏡作り・梨狩り体験、ホームステイ

## 11月8日(日)

第1・2分団：名古屋城視察、リニア・鉄道館視察

第3分団：静岡県へ移動、富士山資料館視察、修禅寺見学

第4分団：流しびなの館視察、浦富海岸島めぐり遊覧船、神奈川県へ移動

## 11月9日(月)

第1分団：真澄田神社視察、愛知県立一宮西高等学校訪問・交流

第2分団：愛知県立豊橋商業高等学校訪問・交流

第3分団：日本大学三島高等学校訪問・交流

第4分団：神奈川県立上溝高等学校訪問・交流

ワークショップ

## 11月10日(火)

第1・2・3分団：東京都へ移動

第4分団：JAXA 相模原キャンパス視察、東京都へ移動

大学訪問(明治大学)

歓送報告会

商業施設視察

## 11月11日(水)

第1・2・3分団：成田山新勝寺参観、成田国際空港より出国

第4分団：羽田国際空港より出国

4 写真

	
<p>11月4日 日本科学未来館視察（東京都）</p>	<p>11月4日 歓迎会（東京都）</p>
<p>11月4日 参観日本科学未来館（東京都）</p>	<p>11月4日 歓迎会（東京都）</p>
	
<p>11月4日 歓迎会 中国高校生パフォーマンス（東京都）</p>	<p>11月4日 歓迎会 中国高校生パフォーマンス（東京都）</p>
<p>11月4日 歓迎会 中国高中生表演节目（東京都）</p>	<p>11月4日 歓迎会 中国高中生表演节目（東京都）</p>
	
<p>11月5日 倉敷美観地区視察（岡山県）</p>	<p>11月5日 高山陣屋・飛驒の里視察（岐阜県）</p>
<p>11月5日 考察倉敷美観地区（岡山县）</p>	<p>11月5日 考察高山陣屋・飛驒之里（岐阜县）</p>



11月5日 あおや和紙工房紙すき体験  
(鳥取県)

11月5日 参观 Aoya 和纸作坊体验和纸制作 (鸟取县)



11月6日 飛驒産業株式会社視察(岐阜県)

11月6日 考察飞驒产业株式会社(岐阜县)



11月6日 岡山県立岡山東商業高等学校  
訪問・交流 (岡山県)

11月6日 访问冈山县立冈山东商业高中  
(冈山县)



11月6日 岡山県立岡山一宮高等学校訪  
問・交流 (岡山県)

11月6日 访问冈山县立岡山一宫高中  
(冈山县)



11月6日 岐阜県立高山工業高等学校訪  
問・交流 (岐阜県)

11月6日 访问岐阜县立高山工业高中(岐  
阜县)



11月6日 鳥取敬愛高等学校訪問・交流  
(鳥取県)

11月6日 访问鸟取敬爱高中(鸟取县)

	
<p>11月7日体験プログラム(みかん狩り)(愛知県)</p>	<p>11月7日 ホームビジット (岐阜県)</p>
<p>11月7日 体験活動(摘桔子)(愛知県)</p>	<p>11月7日 家庭訪問(岐阜県)</p>
	
<p>11月7日さじアストロパーク視察(鳥取県)</p>	<p>11月7日 ホームステイ(鳥取県)</p>
<p>11月7日 参観佐治天文館(鳥取県)</p>	<p>11月7日 体験民宿(鳥取県)</p>
	
<p>11月8日 リニア・鉄道館視察(愛知県)</p>	<p>11月8日 流しびなの館視察(鳥取県)</p>
<p>11月8日 参観磁悬浮鉄道館(愛知県)</p>	<p>11月8日 参観日本传统人形木偶馆(鳥取県)</p>

	
<p>11月9日 愛知県立一宮西高等学校訪問・交流（愛知県）</p>	<p>11月9日 愛知県立豊橋商業高等学校訪問・交流（愛知県）</p>
<p>11月9日 访问爱知县一宫西高中（爱知县）</p>	<p>11月9日 访问爱知县立丰桥商业高中（爱知县）</p>
	
<p>11月9日 日本大学三島高等学校訪問・交流（静岡県）</p>	<p>11月9日 神奈川県立上溝高等学校訪問・交流（神奈川県）</p>
<p>11月9日 访问日本大学三岛高中（静岡県）</p>	<p>11月9日 访问神奈川县立上沟高中（神奈川県）</p>
	
<p>11月8日 明治大学訪問（東京都）</p>	<p>11月9日 歡送報告会（東京都）</p>
<p>11月8日 访问明治大学（東京都）</p>	<p>11月9日 欢送报告会（东京都）</p>

## 5 参加者の感想（抜粋）

○第4陣の中国高校生訪日団の一員に加わることが出来たことを光栄に思っています。感激と興奮を胸に首都北京から数時間のフライトの後、成田空港に到着しました。日本側が開いてくれた盛大な歓迎会は熱情溢れるもので、日本人の時間にきちんとした上でのホスピタリティーに感心しました。日本のみなさんは公共の場面で大声を上げないよう気をつけ、道はきれいでした。

東京に来た数日後、私は初めて新幹線に乗りました。これは私にとって新しい体験で、今まで味わったことのない新鮮な感じを受けました。また、私は自分でみかんを摘んでみかん大福を作りました。私は不器用なので作った大福は奇妙な形になってしまいましたが、それでも心の奥で喜びと感動を感じました。私たちは2つの高校で交流を行い、日本の学生が行っているクラブ活動について知り、そのはつらつとした様子や活気により刺激を受けました。また、日本の伝統的な遊びも体験することが出来ました。その中には古くから伝わる文化、風習に結び付いたものもあり、その体験を通じて多くの日本の友人と出会うことが出来、お互いの距離が縮まったと感じました。

帰国後は日本で体験したことや日本の優れた習慣、文化を身の回りの人や学校の先生、生徒に伝えて行きたいと思います。より多くの同級生たちがこのような交流活動に参加出来、そのことを通じて日中の友好関係が促進されることを望んでいます。

○日本の印象は非常に清潔で外国人に好かれている国であるということです。今回、私は光栄にも中国の代表メンバーとしてその日本を訪問することが出来ました。私たちは日本でまず先端技術に関する講演を聞き、日本の鋼鉄の鑄造などについて学び、日本科学未来館を見学し、多くの知識を得ることが出来ました。また歓迎会で日本の学生と交流する機会がありましたが、印象深いのは彼らの演奏が素晴らしかったということです。その他、日本では横断歩道を渡る時やエスカレーターに乗る時非常に秩序があり、礼儀正しいという印象があります。私たちに会った時、初めての人でも誠意をもってお辞儀や挨拶をしてくれ、日中友好関係の良さを体験出来ました。

岡山東商業高校を訪問した時、自分たち自身で彼らの学校生活の一端を体験しました。僅か数時間の間に多くの友人たちと知り合うことが出来ました。彼らは非常に熱心に接してくれ、私たちを各自の教室に案内し、授業を受けさせてくれました。また放課後は一緒に掃除を行いました。いろいろな体験はいろいろな感動をもたらしました。学校では多彩なクラブ活動が行われていました。中国の学校のクラブ活動に比べて、内容がより多彩であると感じました。今回の交流を通じて、日本の伝統文化についても更に深く理解することが出来、お互いの関係がより身近になったと感じました。

帰国後、私たちは自分たちの最大限の能力を発揮させて日本で感じたことを伝えたいと思います。一人ひとりの気持ちを強め、自分たちの身近な人たちに伝え、更にはいろいろなソーシャルネットワークを通じて映像や文字の形式を使ってより多くの人達に知ってもらいます。また、ボランティア活動を通じて一人ひとりの日本人に対する認識を深めていく—そのようなことも良いのではないかと考えています。

○今回の日本訪問はたくさんの素晴らしい思い出を与えてくれました。訪日前にも日本人は素養があると聞いていましたが、やはり安心できませんでした。しかし、今回の訪問を

通じてやはり日本人は親切でもてなし好きであると改めて思いました。コンビニで買い物をした時も店員さんは非常に礼儀正しく接客をしてくださいました。しかし、私は日本語が分からず、日本語をしっかり勉強してこなかった自分を恨めしく思いました。このような人たちの仕事ぶりは素晴らしいと思ひ尊敬の念を抱きました。そのような気持ちを（その場で）十分に表せなかったことが残念です。

学校を訪問した時、一番印象深かったのは体育館を見学した時のことです。日本の高校生の組織力、自主的に参加していく能力の高さに驚きました。彼らは教師の指導も無い中でも活発に活動していました。このようなことに私は日本人のすばらしい団結力を見ました。

帰国後は学校の先生や学生、家族にそのような日本でのたくさんの体験を話し、今ある日本人に対する見方を変えて行きたいと思ひます。そして、また機会があれば日本を再訪し、日本の変化を感じたいと思ひます。

○今回の訪問を通して、私は日本国民のレベルが非常に高いと感じました。街中でも、スーパーマーケットでも、ホテルの中でも、どこもとて静かでした。日本人の時間に対する概念はとても強いです。彼らの職に対する意識も高く、仕事に対してまじめで、責任感が強いです。日本人の革新力と細やかさに、私は考えを新たにしました。最も印象深かったのは、日本人の誠実さです。日本のスーパーマーケットでは偽札鑑別機はなく、日本人は他人に対する信頼が厚いです。帰国後、私は、日本の優れたもの、伝統、文化を広め、中日の友好のために貢献したいと思ひます。また、自分自身が手本となって、他の人に良い影響を及ぼすようにしたいと思ひます。今回の訪日プログラムはとても良かったと感じました。

○私が最も印象深かったのは、岡山一宮高校での体験です。ここでは、日本の各種伝統文化を体験しました。日本の高校で経験したことのすべてがとてもすばらしく、日本の高校生活がとても羨ましく思いました。一人のフレンドリーな日本の女子高校生と友達になりました。私の英語は決して優れているわけではありませんが、訪問の経験が私に、言語は越えることのできないギャップではないことを語ってくださいました。訪問が終了した後も、私は彼女と連絡を取り続けています。私たちは、深い友情を築くことができると思ひます。帰国後、私は日本で体験したすべてをクラスメートや友人と分かち合いたいと思ひます。彼らに本当の日本、友好的で、きれいで、効率の高い日本を理解してほしいと思ひます。

○印象深かったのは、日本の街並みが清潔で、空気がきれいで、人々が穏やかで親しみやすく、毎日微笑みと柔らかい口調で人に接していたことです。帰国後、私は日本の科学技術の発展の速さとレベルの高さ、人々のレベルが高く、自然保護の能力や意識が高いこと、教育が重きをおくところが中国と異なることなどを伝えたいと思ひます。図、写真、映像などを用いて多くの人に日本の姿を伝え、日本に勉強に来たいという強い望みを表したいと思ひます。JR 東海は日本、ひいては世界に貢献しており、もっと広く伝えるべきだと思ひます。日本の皆さんの温かいもてなしと綿密なアレンジのおかげで、日本がもっと好きになり、また、日本に勉強に来たい強い願ひも持つようになりました。両国が共に進歩し、友好が末永く続くことを願ひています。

○印象に残ったのは日本人の温かさと科学イノベーションという多方面にわたるものです。今回の訪問で気づいたことは、実は日本人はとても親切で温かく謙虚だということです。私の日本人観が変わりました。また日本の科学イノベーションは多岐にわたります。日本科学未来館の見学では、これまで知らなかった科学の知識を理解できましたし、話も歌も踊りもできるロボットも見ることができました。セミナーでの日本の製造業に関する講義では日本の先端技術を学びました。日本の温かい雰囲気を通して大和民族を更に理解することもできました。今回の学校訪問では、多くの日本人学生の友達ができ、相手に対する友情が深まり、お別れの時は少し悲しかったです。日本の伝統的な神社にも行き、日本への興味や好奇心が湧きましたし、日本の風土や人情と文化を理解することができました。

帰国後に周りの人に伝えたいことは、日本は中国人の持つイメージとは違い、日本人は友好的で温かいということです。日本の科学技術はインフラにも先進技術が使われており、私は日本文化と日本で友達になった人達への理解が深まりました。

○今回の訪問期間中私が印象に残ったのは、1. ホームビジット、2. 三島高校訪問です。ホームビジットでホストファミリーが教えてくれた事や心温まる歓待は今も忘れられません。ホストファミリーは、日本市民の生活を体験させてくださいました。お宅へお伺いした時、家の畳やふすま、仏壇や障子、水鉢など調度品の置かれている場所や用途を一つ一つ丁寧に説明してくれ、(彫刻、ピアノ)など家に飾られているものを案内してくれました。説明をしてくれるとき、その姿勢や言葉はいずれも格があり、絶えず冗談を挟み、まるで先生が授業をしてくれている時のようでした。ホストファミリーは、先生を定年退職されています。以前勤められていた学校へ連れて行っていただき、栽培されている果物・野菜養殖を見ました。そして一つ一つ私たちが理解するまで解説してくれました。

三島高校との交流は、少し慌ただしかったけれど間違いなく私たちの思い出に深く残ることでしょう。三島高校では、生徒の皆さんが非常に温かくむかえてくれました。観察していたのは、生徒会長は女性の方で、彼女は的確な指示を出して生徒をまとめていました。彼女の仕事の分担はどれもきっちりしていて、彼女が話をする時は誰も彼女の話の断ち切ることは無く、私は彼女に敬服しました。

帰国後に周囲のみんなに伝えたいことは、日本人が成し遂げた発展の多くは、新しい物を作り出すという想像力にあるということです。帰国したらこのことを一番に伝えていきたいと思いました。

○今回の訪問で私が一番印象に残ったのは、バスの運転手さんです。東京を離れて岐阜羽島に向かう時のバスの運転手さんは、私たちが荷物をバスに積込む時に、一人一人に挨拶をしてくれました。また日本科学未来館に行った時は、その日は正装をする日で女子生徒はみんなハイヒールにスカートをはいていて、バスに乗り込む際には、手すりを掴みながらスカートのすそを押さえながら乗り込まなければならず結構大変だったのですが、それを見ていた運転手さんがさっとステップを下げてくれました。ちょっとしたことですが、気づいてすぐサービスを提供することが徹底されていて驚きました。

観光を学ぶ学生として行き届いたサービスとは何かを身をもって体験でき、中国では体験できなかったことを体験できました。観光を学ぶ学生として、今後進むであろう職場で

求められるのは、まさに運転手さんがやられていた観察して行き届いたサービスを提供するという事に違いないのです。専門用語は教科書の上の言葉でなく、生き生きと目の前に現れたのでした。細かく観察してサービスを提供するとは、こういう風に簡単なことであつたのだと学びました。

帰国してから周囲の人に伝えたいことは、日本人の資質は高く、自分の目で見たごみ箱や道路は本当にきれいで清潔だったことや、日本の歴史や文化等です。必ず伝えたいと思います。私たちの交流や友好訪問は大昔から行われており、私たちは文化面でも共通点が沢山あります。今回の機会のできた友情を大切にしていきます。

最後に、日中両国の友情が永遠に続きますように。

○今回の日本への訪問で、私の日本に対する認識は新たなものになりました。今回見た日本は私の想像していたものと大きく異なりました。

第一に、人々が皆とても友好的であることです。帰国したら周りの人にこのことを伝えるつもりです。周りの人たちの日本に対する考え方を変わるつもりです。

第二に、日本の環境保護対策は特に素晴らしく、中国はこのことを学ぶべきであるということです。私たち一人ひとりが環境保護に対して責任を持つという意識を持つことが基礎となります。もし私たち中国のすべての人が環境問題を強く意識したならば、環境は変えられるはずで

第三に、日本の教育は私たちが学ぶべき価値があるということです。日本の教育システムは私たちの国と比べて自由で、このようなシステムの下では子供たちがより自分の想像力を発揮できると思うからです。将来もよりスムーズに社会に出られると思います。教育についても日本に学ぶべきだと考えます。

○中国高校生訪日団第4陣第4分団の一員として日本を訪問し、鳥取県や神奈川県を訪問できたことを大変光栄に感じています。このような貴重な機会をいただいたことに感謝します。訪問を通して、多くのことを感じ、考えることができました。

最も印象深かったことはホームステイの体験です。ほかの三分団はこのプログラムはなかったと聞き、このような得難い経験ができたことを幸運に思いました。日本の地方の一般の方のお宅に伺い、夜から朝にかけての半日ほどの体験でしたが、ファミリーの皆さんと私たち訪日団の皆がとても打ち解け、食事もすべて私たちの口に合うものでした。英語の上手なご家庭でしたので、コミュニケーションもとてもスムーズで障害もなく、好きな歌の話や趣味などたくさんのおしゃべりをしました。優しい雰囲気や部屋全体を包み、私の心を温かくさせてくれました。

今回の体験を通じて、日本の独特な魅力を感じることができました。それは経済や科学技術面での強みだけではなく、日本人の研鑽しようとする、イノベーションを起こそうと果敢に挑戦する探求心、環境保護分野において素晴らしい結果を出していることだけではなく、日本人の友好的で熱意あふれる優しさや礼儀を重んじる資質です。

今回の経験は私の人生の中で大切な一ページになりました。

○今回の日本訪問で、私たちは日本科学未来館や天文館などを見学し多くの天文や地理に関する知識を教えてもらうことができ、本当の意味での理解を一步進めることができました

た。また同時に日本に対する印象を大きく好転することができました。日本はずっと中国の敵だと認識してきましたが、日本の進んだ文化と科学技術をやっと理解することができました。日本の高校生活の体験を通じて真実の日本に入り込み、日本を理解することができました。日本の人たちは私たちに対してとても友好的でした。日本のありのままの姿であるホームステイを体験することで日本の元々の風情を身近に感じることができ、留学生生活をプレ体験することができました。こういう暮らしに対して憧れると同時に、様々な交流プログラムの中で、今の自分に驕ることなく努力を続けなければいけないということを思い知らされ、見識を増やし、視野を広げ、本当にしなければいけない目標に向かって努力すべきだと感じました。

今回のような交流によって、私たちは異なる文化の人々と友情をはぐくむことができます。それがこれからの私たちの成長と生き方の礎となるのだと思います。今回のプログラムは私たちにたくさんの収穫と喜びをもたらしました。本当の意味で両親から離れ、自分で遠くに行き、自分で旅行し、自分一人で社会に向かい、自己管理の難しさと直面することができ、これからの私たちの成長の基礎となったと思います。